



CONTENTS

- 1-トピックス 第22回ヤング・サマー・セミナーへのお誘い
- 2-私の提言 整理・整頓・共有
- 3-ルポルタージュ 第447回事業所見学会ルポ
- 3-新規研究会の受付/教員公募/JSQC選書新刊/2025年4月の入会者紹介/代議員・役員選挙告示/論文募集/会員登録情報更新のお願い
- 4-行事案内

発行 一般社団法人 日本品質管理学会
 東京都杉並区高円寺南1-2-1 日本科学技術連盟東高円寺ビル内
 電話.03 (5378) 1506 FAX.03 (5378) 1507
 ホームページ:www.jsqc.org/

第22回ヤング・サマー・セミナーへのお誘い

第22回ヤング・サマー・セミナー幹事 吉田 悠夏

2025年5月24日に日本科学技術連盟・東高円寺ビルで開催された第137回研究発表会の中でお伝えさせていただいたように、2025年9月17日(水)~18日(木)に静岡県浜松市にあるデンソーグローバル研修所・保養所「AQUAWINGS」にて、第22回ヤング・サマー・セミナーを開催いたします。詳細については、日本品質管理学会ホームページ

<https://jsqc.org/22yss/>
 をご覧ください。



(AQUAWINGS 全景)

ヤング・サマー・セミナーは、若手会員の親睦をはかるとともに、品質管理や応用統計などのホットなテーマを中心に勉強・議論し、自己研鑽の場を提供することを目的(JSQCニュース No.159)として、1993年に日本ゼオン(株)一碧荘を会場にスタートし、2013年に新日鐵住金鹿島人材育成センターで開催された第21回ヤング・サマー・セミナーを最後に休止しておりました。しかしながら、このたび、多くの方々のご

協力を得て、約10年ぶりにヤング・サマー・セミナーをRe-Startさせていただくことになりました。

JSQCニュース No.420【私の提言】のなかで、松葉且祥様(富士フィルム(株))が「(日本品質管理学会若手)会員の困りごとや悩みを共有・議論できる場、ネットワーキングできる場がもっとあってもよい」とご提案されています。今回のヤング・サマー・セミナーはまさしくそのような場となることを目指して開催するものです。「産業界」のみならず、「学术界」の学生や研究者のみならず、1泊2日の滞在をとおして交流を深める機会に、さらには、セミナー中に企画されている研究発表会や特別講演をとおして、さまざまな分野の知識に触れ、みなさまが取り組んでいる課題解決に向けて、新たな視点を得る機会となれば幸いです。



(Sky Dining & Bar (懇親会会場))

研究発表会では、理論・方法論・応用・事例等について発表・討論を

行うだけでなく、困りごとや悩みを共有・議論できる場にもしたいと考えております。また、ここでは研究発表会や年次大会といった行事とは異なり、11月に開催予定のANQ2025や年次大会研究発表会で発表を検討されている方々にはその発表練習の場として、卒業を控えている学部生や大学院生には卒業論文研究や修士論文研究のアイデアを整理する場として、企業の方々には品質管理現場における課題を紹介していただく場としてもご活用いただければと存じます。参加者のみなさまには、是非とも発表をご検討いただけますと幸いです。

特別講演では、日本品質管理学会元会長でデータサイエンス共同利用基盤施設長である椿広計先生、日本品質管理学会 現会長で慶應義塾大学教授である山田秀先生、日本品質管理学会 理事で(株)デンソーの吉野陸様の3名の先生方をお招きすることとなりました。3名の先生方によるご講演は、品質管理に関する新たな視点や知見を得る貴重な機会になるものと考えております。

それでは、みなさまと9月に浜松でお会いできることを心より楽しみにしております。

● 私の提言 ●

整理・整頓・「共有」

早稲田大学 竹本 康彦



情報の送信側と受信側では、随分温度差があるように思う。大学を例にとってみる。なお、これは特定の大学、例えば早稲田大学の事例を指しているわけではない。高校までと違って大学ともなれば、多くの組織体が内在する。学部・学科、教務課、学生課、図書館、同窓会組織などが挙げられる。新入生であれば、オリエンテーションのときに様々な組織体から情報が伝えられる。以前は大量の文書が紙面で配付されていたが、現在では紙面にURLだったり、QRコードだったり印刷されている。そこ

をたどると、以前にも増して大量の文書が届けられていることに気付く。発信する組織体は、そこで必要な情報を整理・整頓しているだろう。しかし、各組織体からの膨大な情報を必要なときに参照できるようにするための管理は、受信側に委ねられている。新入生には優しくない。(もちろん、情報の整理・整頓の方法を自ら工夫して構築していく教育的側面があることも忘れてはならない。)

このような背景を踏まえ、整理・整頓の後の「共有」について提案したい。日本品質管理学会内にもいろいろな組織体が存在する。それは各種委員会であったり、支部組織であったりする。それぞれが様々な活動を実践することで、学会の活性化につながる。ただし、それ

ぞれの組織体が各々の情報を整理・整頓して発信しているだけでは、先に示した大学の新入生の例と変わらない。たとえば、学会ウェブサイトのトップページにカレンダーを配置して、行事のスケジュールが一目でわかるようにしておくのはどうだろうか？学会内の様々な組織体の活動が可視化され、学会活動の見通しがよくなるのだろうか？カレンダーがあれば、自分の都合に合致するものに対して詳細を確認し、参加を考えることができる。当然、カレンダーを設置しておけば、情報を埋没させることなく、継続的に注目を集められる。

マネジメントを標榜する学会だけに、効率的かつ効果的な運用が望まれる。欲を言えば、共催や協賛をしよう学会間で情報の共有ができれば、集客力を高めることも考えられるし、そもそも参加者が分散しないような配慮も期待できる。別に行事に限ったことではない。先の松葉氏のご提言を見ても、まず様々な情報を共有するのが第一かと思う。

第447回 事業所見学会 ルポ

コマツ 大阪工場

2025年1月21日(火)に第447回事業所見学会が開催され、コマツ大阪工場にて、コマツの歴史、技術力、未来に向けた取り組みをテーマに、24名が参加した。

コマツ大阪工場は、大阪府北東部の枚方市に位置しており、敷地面積545,000m²と広大な敷地に約3,300名の従業員が在籍している。主に中～大型のブルドーザー、ショベルを生産しており、特徴として、研究・開発・生産部門が一つの工場に存在していることにより、同じ工場内で設計から生産まで一貫した対応が可能となっている。

コマツは、「品質と信頼性」を追求し、コマツを取り巻く社会とすべてのステークホルダーからの信頼度の総和を最大化することを「経営の基本」としている。それを実現するための基盤として、世界中のコマツグループ社員が共有すべき価値観としてコマツウェイ（「マネジメント/リーダーシップ編」、「ものづくり」

編」、「ブランドマネジメント編」）を定め、全従業員がコマツの価値観を実践するための行動指針を明確にしている。

人材育成に力を入れており、技術と技能の定義や目標とすべき技能者や検査員のありたい姿を定め、技能レベル表による評価および育成カルテによる育成計画を立て、QC活動、品質道場、トレーニングセンター（匠の杜）にて、技術・技能の両面から人材育成を行っている。

ICT、IoTの活用にも力を入れており、世界中で稼働している建機の稼働状況を一元的に見える化し、リアルタイムでの計画の立案・変更に応用し、生産工程においては開発段階でのバーチャル評価システムの導入、タブレット端末の導入による組立作業員の習熟期間の低減、生産現場にて作業標準書や検査値などを一括で確認できるようにしている。

全体を通じて、一つ一つの様々な手法・活動が「経営の基本」に繋がっており、方針管理が徹底されていることに非常に感銘を受けた。

最後に、今回ご協力いただきましたコマツ大阪工場の皆様にお礼申し上げます。

濱田 和樹（大阪ガスケミカル(株)）

2025年4月の入会者紹介

2025年4月21日の理事会審議において、下記の通り正会員6名、準会員10名の入会が承認されました。

.....
(正会員6名) ○前園 朋代 (丸二倉庫)
 ○野村 琢真・間所 周平 (オークマ)
 ○芝崎 皓 (本田技研工業) ○福島
 高司 (コベルコ建機) ○長尾 功弘 (積
 水化学工業)

.....
(準会員10名) ○與座 啓仁 (横浜国立
 大学) ○田村 遼馬・小瀬 淳太郎・金
 子 陽祐・宮澤 航介・許 燁・水上
 大輔・細川 優衣 (早稲田大学) ○坂口
 壮吾・斯波 愛理 (慶應義塾大学)

名譽会員：25名

正 会 員：1565名

準 会 員：52名

職域会員：48名

賛助職域会員：12名

公共会員：11口

賛助会員：163社232口

代議員・役員選挙告示

日本品質管理学会第55年度～第56年度(2025年11月15日総会～2027年総会)の代議員ならびに役員選挙を次の日程で行います。

立候補・推薦受付：

6月20日(金)～30日(月)

投票期間：8月1日(金)～31日(日)

開票日：9月16日(火)

「品質」誌、投稿論文の募集!

会員の方々からの積極的な投稿をお勧めします。投稿区分は、報文、技術ノート、調査研究論文、応用研究論文、投稿論説、研究速報論文、クオリティレポート、レター、QCサロンです。

詳細は下記URLよりご確認ください

<https://jsqc.org/post/>

論文誌編集委員会

会員登録情報 更新のお願い

転勤や異動など会員登録情報に変更がありましたら、下記より変更届を申請ください

学会HP → 会員専用ページ → 変更届

新規研究会を受け付けます

研究開発委員会では、本年度に設置する新規公募研究会の申請を受け付けます。奮って申請してください。特に、若手会員を主査とする研究会を歓迎いたします。

研究期間：2025年10月～2026年9月 (1年間)

申請方法：「新規研究会設置申請書」(様式204-1)をホームページよりダウンロードし、ご記入の上、メール添付で本部事務局宛にお送りください。
<https://jsqc.org/studygroupentry/>

申込締切：2025年7月1日(火)必着

申 込 先：jimukyoku@jsqc.org

研究会の申請と運営：

- 研究会の申請にあたり、申請者は共同研究者(学界・産業界)を5～10人位事前に働きかけて集め、申請書に記入する。理事会承認後JSQCニュースでメンバーを公募する。
- 研究目的と年間の研究活動計画を作成する。
- 1研究会のメンバーは20人までとする。
- 会場：Zoom会議室
 対面の場合は、原則として日本科学技術連盟東高円寺ビル会議室を利用する。
- 対面の会議の際、時間は18時～20時とし、食事を支給する。ただし、会場の都合がつけば午後でも可とする。研究会運営費は一人1回当たり1,150円(内訳：通信費・資料代・食事代)。ただし、年間開催数は11回を限度とする。

教員公募

早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 経営システム工学科

募集人員 教授、教授(テニュアトラック)、准教授、または、准教授(テニュアトラック)1名

所 属 早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 経営システム工学科/
 創造理工学研究科 経営システム工学専攻

専門分野 ソフトウェア工学、情報システムデザイン、システムインテグレーション、プロジェクトマネジメントなど、経営システム工学における情報システムに関連する研究分野

担当科目 情報システム開発演習、ソフトウェア工学、コンピュータ工学など

着任時期 2026年4月1日、またはそれ以降のできるだけ早い時期

応募締切 2025年6月30日(月)必着

詳 細 jREC-IN Portal
<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?id=D125041464>

事務局からのお知らせ

日本品質管理学会監修「JSQC選書38」好評発売中

●JSQC選書38 (288ページ)

書名：慢性期医療の品質マネジメント 人生に伴走する医療の確立に向けて
 著者：進藤 晃

判 型 等：四六判、並製本

定 価：2,420円(税込) → 学会員特典価格：1,936円(税込)

申込方法：<https://jsqc.org/jsqcselection/>

※書籍は請求書を同封して日本規格協会から発送いたします。

行事案内

●第155回講演会（関西）

テーマ：品質保証と人材育成への取り組み

日時：2025年7月1日(火)13:30～16:45

会場：日科技連 大阪事務所内 研修室

およびオンライン(Zoomミーティング)

プログラム：

講演 (1) 調達品品質確保のための人材づくりと仕掛けづくり

鱈谷 佳和 氏 (元 村田製作所)

講演 (2) “廉価・汎用・横展開” 内製DX技術を使ったお取引様との協創活動～成果の秘訣は“一緒に考える”、

“自己成長”、“現場からの感謝”～

茨木 康充 氏 (ヤマハ発動機)

内田 晴久 氏 (ヤマハ発動機)

詳細・申込：<https://jsqc.org/155lecture/>

●第147回クオリティトーク（東日本）

テーマ：品質不正はなぜ起こるのか

—安全と機能だけでなく、安心と信頼性を提供するために—

ゲスト：古字 朗人 氏

(SOMPOリスクマネジメント)

安藤 悟空 氏

(SOMPOリスクマネジメント)

日時：2025年7月4日(金)13:00～15:30

会場：オンライン(Zoomミーティング)

詳細・申込：<https://jsqc.org/147qtalk/>

●第184回シンポジウム（中部）

テーマ：「品質を創造する力を磨く組織風土改革」～欧米の企業が実践している、品質創造に加速度をつける方法論～

～欧米の企業が実践している、品質創造に加速度をつける方法論～

日時：2025年7月9日(水)13:30～16:30

会場：ライブ配信 (Zoomウェビナー)

プログラム：

基調講演 品質を創造する力を磨く組織風土改革 ～欧米の企業が実践している、品質創造に加速度をつける方法論～

川西 由美子 氏 (ランスタッド)

事例講演 関西電力における組織風土改革に関する取り組み ～やってみる、からはじめる風土改革。～

野地 小百合 氏 (関西電力)

事例講演 品質を創造するアート思考

型組織の醸成

金丸 耕平 氏 (パナソニックITS)

パネル討論

コーディネーター：梶原 千里 氏

(静岡大学)

パネラー：上記講演者

詳細・申込：<https://jsqc.org/184sympo/>

●第452回事業所見学会（東日本）

テーマ：アイリスオーヤマの理念を学ぶ—ユーザーイン発想のモノづくりによる市場創造に向けた品質管理のあり方について—

—ユーザーイン発想のモノづくりによる市場創造に向けた品質管理のあり方について—

日時：2025年7月25日(金)13:30～16:30

見学先：アイリスオーヤマ(株)角田工場

(宮城県角田市)

定員：30名

※同業他社のお申し込みはご遠慮ください。

詳細・申込：<https://jsqc.org/452visit/>

●第148回クオリティトーク（東日本）

テーマ：現場から経営を考える

—自らの業務を起点に組織全体の経営を洞察する—

ゲスト：木内 正光 氏 (玉川大学)

日時：2025年8月4日(月)18:00～20:30

会場：オンライン(Zoomミーティング)

詳細・申込：<https://jsqc.org/148qtalk/>

●第148回QCサロン（関西）

テーマ：ダントツ品質を創りあげる処方箋

ゲスト：飛田 甲次郎 氏

(ゴールドラットジャパン)

日時：2025年8月5日(火)19:00～20:30

会場：オンライン(Zoomミーティング)

詳細・申込：<https://jsqc.org/148qtalk/>

●第454回事業所見学会（西日本）

テーマ：医療現場における継続的改善活動

日時：2025年8月29日(金)13:00～17:00

見学先：(株)麻生 飯塚病院 (福岡県飯塚市)

定員：30名

詳細・申込：<https://jsqc.org/454visit/>

●第139回研究発表会（関西）発表募集

日程：2025年9月9日(火)

会場：関西学院大学 大阪梅田キャンパス

(1) 申込期限

発表申込締切：7月29日(火)

予稿原稿締切：8月26日(火)必着

(2) 研究発表・事例発表の詳細・申込方法

https://jsqc.org/139technical_cfp/

(3) 参加申込

参加申込締切：9月7日(日)

詳細・申込：<https://jsqc.org/139technical/>

●第22回ヤング・サマー・セミナー

日程：2025年9月17日(水)～18日(木)

会場：デンソーグローバル研修センター

[AQUAWINGS] (静岡県浜松市)

参加資格：原則35才以下

詳細・申込：<https://jsqc.org/22yss/>

●(予告)第138回研究発表会（中部）

日程：2025年8月27日(水)

会場：名古屋工業大学

●(予告)第55回年次大会（本部）

日程：2025年11月14日(金)・15日(土)

会場：京都大学 吉田キャンパス ほか

事務局

JSQCホームページ：<https://jsqc.org/>

本部：〒166-0003

東京都杉並区高円寺南1-2-1

日本科学技術連盟東高円寺ビル内

E-mail：jimukyoku@jsqc.org

TEL：03-5378-1506

FAX：03-5378-1507

中部支部：〒460-0008

名古屋市中区栄2-6-1

RT白川ビル7階

日本規格協会名古屋支部内

E-mail：nagoya51@jsa.or.jp

TEL：050-1742-6188

FAX：050-3535-8675

関西支部：〒530-0003

大阪市北区堂島2-4-27

JRWD堂島タワー11階

日本科学技術連盟大阪事務所内

E-mail：kansai@jsqc.org

TEL：06-6341-4627

FAX：06-6341-4615